

令和5年度第1回八千代市農業イノベーション計画協議会 概要

日 時 令和5年4月17日（月） 午後2時～午後4時40分まで

場 所 やちよ農業交流センター 第1研修室，第2研修室

出席者 八千代市農業イノベーション計画協議会

◆ 出席者：13名

岩井委員，櫻井（清）委員，山崎委員，櫻井（博）委員，長岡委員，植草委員，小塚委員，嶋村委員，三宅委員，周郷委員，鈴木委員，白井委員，土屋委員，岩崎オブザーバー

◆ 欠席者：2名

加藤会長（経済環境部長），立石オブザーバー

◆ 事務局：農政課4名

萩野課長※会長代理，高橋副主幹，杉田主査，猿田主査補，小川主査補

議 題 (1) 農業イノベーション計画協議会について

(2) 協議事項

① 八千代市第2次農業振興計画アクションプランについて

② （仮称）道の駅やちよ周辺地区活性化計画について

(3) その他

会議概要

議 題 1 農業イノベーション計画協議会について

(1) 説明

八千代市農業イノベーション計画協議会設置要領に基づき説明

(2) 質問・意見等

特になし

(3) まとめ

当該協議会の設置目的に基づき必要な計画やその他の事項について協議することとする。

議 題 2 協議事項について

協議事項 1 八千代市第 2 次農業振興計画アクションプランについて

(1) 説明

八千代市第 2 次農業振興計画アクションプランについて、資料に沿って事務局より説明

＜八千代市第 2 次農業振興計画の概要等＞

農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化・担い手の不足、耕作放棄地の増加など、大変厳しい状況にある。

しかしながら、新鮮で安全な農作物の供給のみならず、農業体験の場や、災害時の避難場所の提供等の多面機能が評価され、都市農業・都市農地の保全に対する都市住民の意識が高まっており、行政はもとより、農業者、市民、団体がそれぞれの役割を担い、お互い協力・連携して農業振興を進めていくことが求められていることなどから、第 2 次農業振興計画を令和 3 年 3 月に策定した。

第 2 次農業振興計画は、令和 3 年度から令和 22 年度までの 20 年間の計画となっており、具体的な取り組み時期などを定めたアクションプラン策定のため、委員から参考意見を求めた。

(2) 質問・意見等

① 特産物の P R

- ・ 特産品の P R に限らず普通の農産物の P R が不足している。
- ・ 情報発信の方法を充実させる必要がある。

② 農業所得の向上

- ・ 農作物の収穫時期が重なるため余剰分が生じる。その農作物を活用し、加工品を生産及び販売すればいいと思うが、農作物を作りながら行うことは困難である。
- ・ 加工品は販売単価が上がると思うが、加工者の確保等の問題がある。
- ・ 加工品の生産について、加工を行う組織や施設を立ち上げて実施するのが効率的であり、更に主流になってきている。

(3) まとめ

八千代市第2次農業振興計画アクションプラン（案）について、各委員から頂戴した意見を踏まえて作成することとした。

協議事項2 （仮称）道の駅やちよ周辺地区活性化計画について

(1) 説明

（仮称）道の駅やちよ周辺地区活性化計画について、資料に沿って事務局より説明
 <（仮称）道の駅やちよ周辺地区活性化計画の概要等>

道の駅やちよ（八千代ふるさとステーション）の改修を行う際に、農林水産省所管の農山漁村振興交付金を活用する予定としており、その交付金の申請に当たり、農山漁村の活性化のための定住及び地域間交流の促進に関する法律に基づき、定住等及び地域間交流の促進による農山漁村の活性化に関する計画（以下「活性化計画」という。）の作成が必要になる。

（仮称）道の駅やちよ周辺地区活性化計画の作成に当たり、同交付金を活用した他自治体の活性化計画を参考に概要説明や活性化に向けた取組みについて意見を求めた。

(2) 質問・意見等

① 賑わいの創出の検討

- ・ 現在の道の駅は、農産物直売所だけでなく何かしらのアクティビティがないと集客人数を伸ばすのは難しいのではないか。
- ・ 「防災道の駅やちよ整備計画」及び「防災道の駅やちよ整備コンセプト」において、ドックラン等の整備が記載されており、実際に整備すれば集客力の向上に繋がるのではないか。
- ・ 道の駅やちよ施設内だけでなく新川サイクリングロード等の改修も必要ではないか。
- ・ 道の駅やちよの電車やバスでのアクセスが不便という意見が出たが、集客力や魅力が上がれば自ずと改善される。そのためのアイデアを出すことが必要ではないか。
- ・ 道の駅やちよの立地条件としてのポテンシャルはある。後はマネジメントの

問題ではないか。

② 施設及びアクセスについて

- ・ 道の駅やちよ（ふるさとステーション）の入口が分かりにくいので駐車場を含めた動線の検討が必要ではないか。
- ・ 道の駅やちよまでの車以外のアクセスが悪い。路線バスが通ると良い。

③ その他

- ・ ふるさとステーションの農産物販売所の顧客層が固定化・高齢化している。幅広い年齢層の方に来館して頂きたいが、平日の日中は働いている方が多いので難しい。
- ・ ふるさとステーションの農産物販売所内に出荷時期のカレンダーを作り、公表することで、一部の生産者が意図的に生産出荷時期をずらして供給過多を回避した事例がある。

(3) まとめ

次回会議において、事務局案としての（仮称）道の駅やちよ周辺地区活性化計画を提示することとされた。

なお、事務局案を作成するに当たり、各委員から頂戴した意見を反映させ、（仮称）道の駅やちよ周辺地区活性化計画（案）を作成することとされた。

議 題 3 その他

次回会議予定について説明

以上